

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月17日

計画の名称	新田駅周辺地区における都市基盤整備												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	草加市												
計画の目標	新田駅周辺の道路、公園、下水道の整備等を行うことによって良好な市街地形成と交通機能等の向上を図り、文化・生活の交流拠点として「発展性あふれる便利な北の玄関口のまち」をつくることを目的とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	8,631	A	8,631	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	新田駅東口土地区画整理事業区域内及び新田駅西口土地区画整理事業区域内の宅地整備率 土地区画整理事業区域内の宅地の整備率であり、以下の式により算出する。 使用収益開始宅地面積/計画宅地面積	21%	%	69%
2	草加市市民意識調査によるアンケート 問「あなたが最も多く利用する駅の乗降口は」と問「駅の周辺は、商業、コミュニティ、交通の拠点として、快適に利用できていると思いますか」のクロス集計により算出される、新田駅西口が快適だと思ふ人の率。	18%	%	40%
3	草加市市民意識調査によるアンケート 問「あなたが最も多く利用する駅の乗降口は」と問「駅の周辺は、商業、コミュニティ、交通の拠点として、快適に利用できていると思いますか」のクロス集計により算出される、新田駅東口が快適だと思ふ人の率。	17%	%	35%
4	公共施設基盤(下水道(汚水))整備率 下水道(汚水)の整備率であり、以下の式により算出する。 下水道(汚水)の整備済面積/下水道(汚水)の整備計画面積	0%	50%	100%
5	公共施設基盤(下水道(雨水))整備率 下水道(雨水)の整備率であり、以下の式により算出する。 下水道(雨水)の整備済面積/下水道(雨水)の整備計画面積	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
番号5の下水道事業A07-006、007については、R3から防災・安全交付金に移行し事後評価についても同様に実施する。														

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果 備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	草加市	直接	草加市	区画	改築	新田駅東口 ( (都) 新田 停車場線外)	区画整理 A=6.3ha	草加市	■	■	■	■	■	3,122		—	
	A01-002	街路	一般	草加市	直接	草加市	区画	改築	新田駅西口地区 ( (都) 新田駅前旭町線)	区画整理 A=10.6ha	草加市	■	■	■	■	■	2,398		—	
												小計						5,520		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	草加市	直接	草加市	—	—	新田駅東口地区	都市再生区画 A=6.3ha	草加市	■	■	■	■	■	1,338		—	
	A13-004	市街地	一般	草加市	直接	草加市	—	—	新田駅西口地区	都市再生区画 A=10.6ha	草加市	■	■	■	■	■	557		—	
												小計						1,895		
下水道事業	A07-005	下水道	一般	草加市	直接	草加市	管渠 (	新設	草加市第9処理分区整備 事業	整備面積 A = 22.92ha	草加市	■	■	■	■	■	1,130		—	

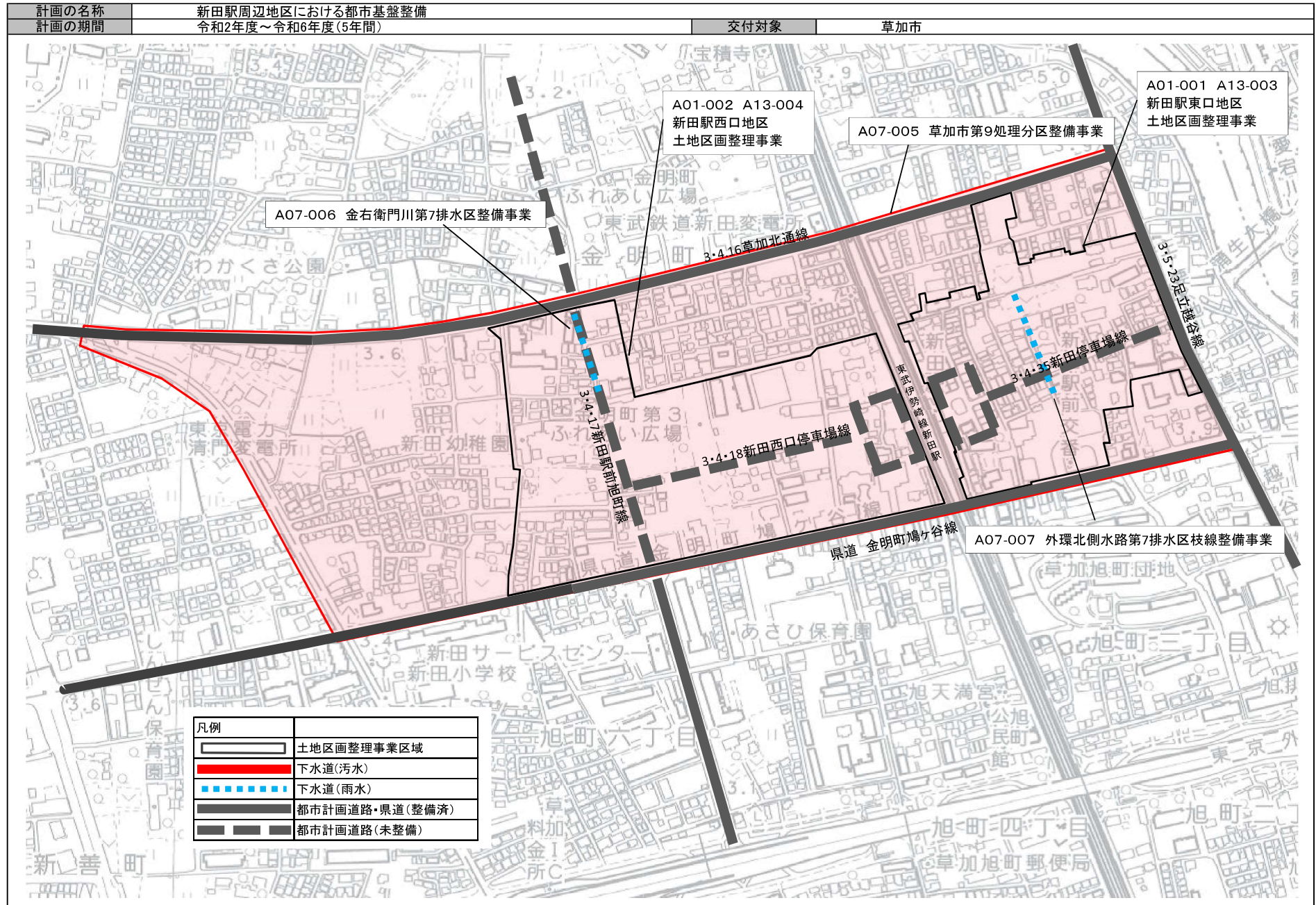
A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-006	下水道	一般	草加市	直接	草加市	管渠 (雨水)	新設	金右衛門川第7排水区整備事業	枝線 L=0.13km	草加市	■					64		—	
	A07-007	下水道	一般	草加市	直接	草加市	管渠 (雨水)	新設	外環北側水路第7排水区枝線整備事業	枝線 L=0.05km	草加市	■					22		—	
											小計						1,216			
											合計						8,631			

交付金の執行状況

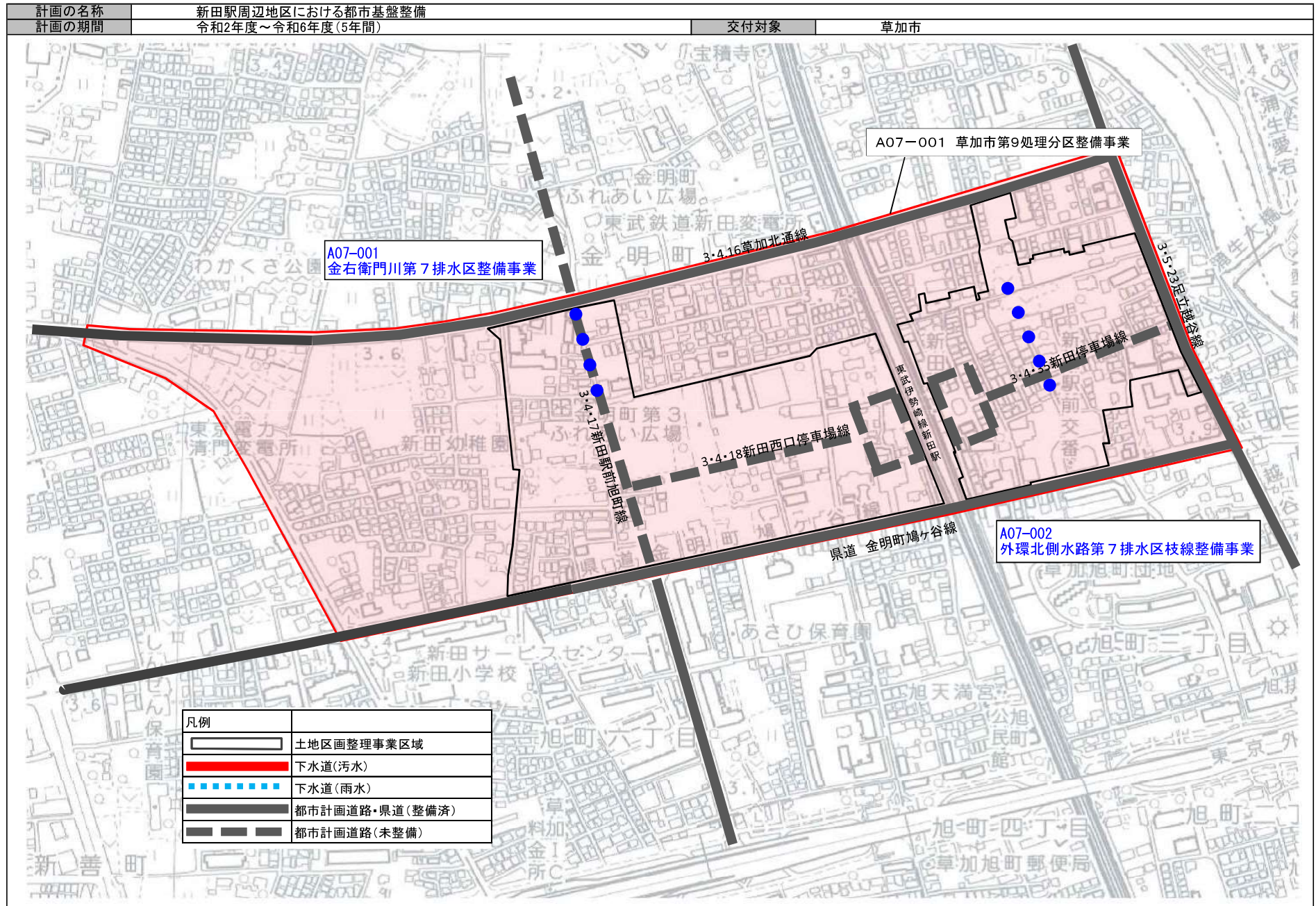
(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	67				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	67				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	67				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画



(参考図面) 社会資本総合整備計画



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 新田駅周辺地区における都市基盤整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

